

# Fire Press

二宮町消防団広報紙

平成15年8月25日発行

Vol.1

## 「自分達の郷土は、自分達で守ろう。」

消防団は、地域社会の災害防止、災害発生時の活動を目的として組織されたものです。

かつては、消防組、警防団とも呼ばれ、江戸時代からの永い伝統があり、消防団として、現在に至っています。

近年、神奈川県西部を震源とする大地震の発生の危険期に入っています。地域防災を考えた中で、その中核となる消防団・また消防団経験者の必要性をご理解願いたく、機関紙の発刊となりました。町民のより多くの方へ「防災意識の向上」「消防団へのご理解」をお願い申し上げます。



僕も立派な消防団員（二小祭りにて）  
撮影／中澤氏

平成十五年度  
その油断 火から姿へ 災いへ  
全国统一防火標語

## 発刊のご挨拶

二宮町消防団長 二見 泰弘



残暑厳しい折りですが、皆様にはご清栄のこととお慶び申し上げます。この度、町民の皆様は消防団活動に対する、ご理解・ご協力を賜りたく二宮町消防団広報紙を創刊する事になりました。

町民の皆様が、安全・安心に暮らすことができる地域社会を構築するためには、地域防災の中心を担う消防団の充実強化をより一層推進していくとともに、町民の皆様は消防団とその活動に対する、ご理解・ご協力をいただき、特にそのご家族や勤務先の方々にご協力を得られ初めて消防団は、地域と一体となった活動を行うことができるものです。

消防団員は、非常勤特別職の地方公務員である一方、他に本業を持ちながら、自らの意志に基づく参加、すなわちボランティアとしての性格を合わせ持ち火災発生時にいち早く現場へ駆けつけ消火などの活動を行うばかりでなく地震・風水害等の大規模災害時には、即時に多数の団員を動員し、地域に密着した活動を行うなど重要な役割を担っております。また平常時においても訓練のほか・特別警戒・広報活動など地域における、消防力・防災力の向上に貢献しています。

しかしながら、消防団を取り巻く環境も変化しており、地域によっては消防団員の確保も非常に困難になっております。自分たちのまちを自分たちで守るため、これからもより多くの方々消防団に参加し、新しい守り手として活躍されることを期待しております。

最後になりますが、地域の安全と安心を守るため消防団に対し、なお一層のご理解・ご協力をお願い申し上げます。発刊の挨拶とさせていただきます。

# 消防力の現況

二宮町は、首都圏ベッドタウンの拡大に伴い、京浜地区への通勤圏として宅地化など都市化が急速に進み、家屋の密集地域ではひとたび火災が発生すると延焼危険や死傷者を出す災害となることは避けられない状況です。また、最近では、交通事故や急病等の救急活動も年々増加の傾向とともに複雑多様化するなど、消防をとりまく情勢は非常に厳しいものがあり、これらに対応するためには、消防施設の整備拡充と消防力の充実が望まれるところです。

## 消防の組織

昭和47年2月に二宮町消防本部と消防署を設置されました。



消防職員は、現在38人。警備隊は、2交代制で有事の出動体制をとっています。

消防団は、五ヶ分団で組織され、常備消防の協力機関として消防業務の活動をしています。定員は、78人。消防業務が本職ではありません。

## 消防団の活動

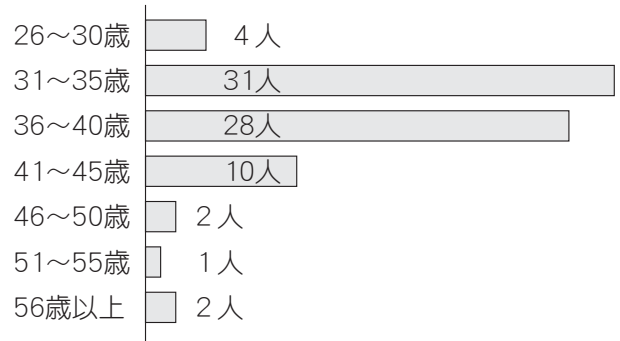
明治17年、一色村に私設消防組が誕生し、その後中里、二宮、梅沢、山西の各地区に消防組が誕生。昭和23年、消防組織法が施行され、自治体消防として消防団を設置。昭和47年2月、常備消防（消防署）が設置されるまで、第一線での活動等、輝かしく永い伝統を持っています。現在では、まず、常備消防の出動。そして、状況で応援要請により出動します。各分団には、消防ポンプ自動車と山林火災や大地震発生に備えて、小型動力ポンプが配置されています。

### 年間の活動

- 4月 新入団員訓練 (普通救命講習含む)
- 5月 消防ポンプ性能検査
- 7月 消防団員体力練成大会
- 9月 防災の日
- 11月 秋の火災予防運動
- 12月 歳末火災特別警戒
- 1月 消防出初め式
- 3月 春の火災予防運動
- 3月31日 消防団入退団式 (各月定期訓練1回)

活動内容は、各分団ごとに異なる場合があります。

### 消防団員年齢



(平成15年4月1日現在)

### 消防団員の職業構成

農業	建設業	製造業	電気・ガス 熱供給 水道業	運輸・ 通信業	卸売・ 小売業 飲食業	サービ ス業	公務員 その他	計
6	12	24	4	1	10	13	8	78

# 消防分団管轄区域図

## 第四分団 →

(中里・百合が丘1丁目)  
 月一度、定期訓練を行っています。仕事が終わって食事できないまま訓練という辛い時もありますが、得るものも多く人生において大変プラスになる経験ができると思います。

我々と一緒に地域ボランティアに参加してみませんか。良い仲間づくりもできますよ！



- 分団長 深見幸弘 (中里四ツ谷)  
 副分団長 城所征四郎 (中里中島)
- 団員
- |                |              |
|----------------|--------------|
| 三田哲也 (百合が丘一丁目) | 篠島達雄 (中里中島)  |
| 戸丸幸政 (中里四ツ谷)   | 篠島好弘 (中里中島)  |
| 栢原啓明樹 (中里県営)   | 大勝健治 (中里四ツ谷) |
| 西山哲也 (中里貝ヶ窪)   | 石岡勲 (中里日鉦)   |
| 内海由貴 (中里中島)    | 野地剛 (中里貝ヶ窪)  |
| 西本雄祐 (中里宮ノ下)   | 若菜健一 (中里谷屋津) |
| 片山淳 (百合が丘一丁目)  |              |

## ↑ 第五分団

(中里・緑が丘・百合が丘2・3丁目)  
 地元の皆さんに愛される分団を自指しています。平成12年12月に新しい消防ポンプ車になり、訓練等に熱く取り組んでいます。訓練中でも気軽に声をかけてくださいね。新しく緑が丘に移住された方、よろしくお願ひします。

- 分団長 井上昌之 (一色)  
 副分団長 橋川敏一 (一色)



## ↑ 第三分団

(元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根)  
 地元は、自分達で守ろう。  
 仲間を増やそう！  
 年に1回の家族懇親でディズニーランド等へ、行きます。  
 仲間の団結、家族の絆を大切にして、意欲的に消防活動を行っています。

- 分団長 高澤達夫 (元町)  
 副分団長 松本重則 (元町)



## ← 第一分団

(川勾・釜野・越地・茶屋・梅沢)  
 各自治会より団員が選ばれて、消防団を組織しています。  
 素晴らしい体験・楽しい思い出作りをしませんか。地元の皆様、これからもよろしくお願ひします。

- 分団長 村山 光 (茶屋)  
 副分団長 野谷喜芳 (釜野)

## ↑ 第二分団 (上町・中町・下町)

「元気があれば、なんでも出来る。」  
 とにかく、声を大きく出そう。明るさをモットーにしています。

消防活動は、安全・確実に！  
 地域に密着した分団を目指します。

- 分団長 池田昌隆 (上町)  
 副分団長 須藤正高 (下町)



# 火事だ！ そのとき、あなたは…



## 早く知らせる

どんなに小さな火事でも一人で消そうとしないで、「火事だ」と大声を出し、隣近所に援助を求めましょう。自分で119番通報をできないときは、他の人に通報を頼みましょう。

## 早く消火する

出火から3分以内が消火できる限度です。消火器や水だけでなく、毛布でおおうなどして、手近なものを活用しましょう。

## 早く逃げる

天井に火が移ったら、いさぎよく避難しましょう。



## 消火器の正しい使い方

1. 安全栓を引き抜く



2. ホースをはずし火元に向ける  
3. レバーを強くにぎる

火災を大きくしないためにも、すばやく消火することが大切です。一般的には、炎が天井付近に達するまでは、消火器で消すことができます。万一のためにも消火器はいつでも使えるところに置いておきましょう。

(消防庁ホームページより)

## 119番の正しいかけ方

消防署：119番、消防署です。火事ですか、救急ですか。

通報者：火事です。

消防署：あなたのお名前と住所を教えてください。

通報者：名前は、消防太郎です。

住所は〇〇町1丁目2番3号です。

消防署：近くに、何か目標がありますか。

通報者：公立図書館の隣です。

消防署：いまお使いの電話番号を教えてください。

通報者：123の4567です。

消防署：わかりました。何が燃えていますか。

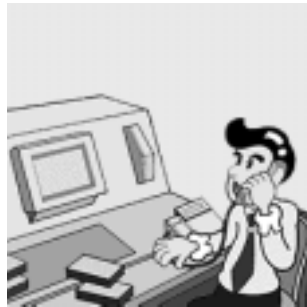
通報者：図書館の隣の私の家が燃えています。

消防署：わかりました。直ちにそちらへ向かいます。

あなたは大丈夫ですか。早く外に出てください。

通報者：はいわかりました。

(消防庁ホームページより)



## 消防団員募集

### 「自分達の郷土は、自分達で守ろう。」

20代・30代の男子の方で分団活動に協力してくれる方を広く募集しています。

より多くの方に消防団活動を経験してもらい、地域防災の一翼を担っていただきたく願います。傷害保険等有り、任期・活動内容等は各分団ごとにことなります。

問い合わせ 消防本部 消防課 ☎72-0015

- |                           |            |
|---------------------------|------------|
| 第一分団 (川匂・釜野・越地・茶屋・梅沢)     | 村山 光 ☎090- |
| 第二分団 (上町・中町・下町)           | 池田昌隆 ☎090- |
| 第三分団 (元町・富士見が丘1・2・3丁目・松根) | 高澤達夫 ☎72-  |
| 第四分団 (中里・百合が丘1丁目)         | 深見幸弘 ☎71-  |
| 第五分団 (中里・緑が丘・百合が丘2・3丁目)   | 井上昌之 ☎090- |



消防団は、通常は自らの仕事を持ちながら、「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき、地域の人たちのため、社会のために活躍されている人たちの集まりです。